



チューモくん日記 #文房具 ～スティックのり～

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

「チューモくん日記」では、本校やその周辺のことについて語っていきます。

今回は、スティックのりを紹介します。

弱視の子どもが苦手な作業の一つに、のり付けがあります。

白いスティックのりを使うと、どこにのりが付いたのか、本当に付いているのかが分かりにくいからです。

そこで、よく使われるのが、トンボ鉛筆のスティックのり「消えいろPIT」などの、色付きのりです。

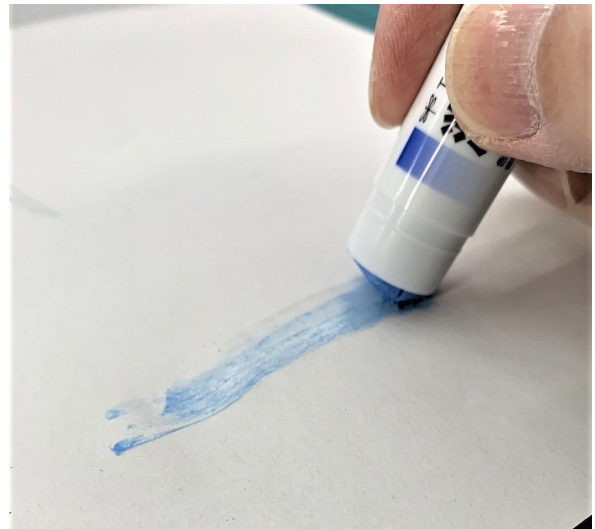
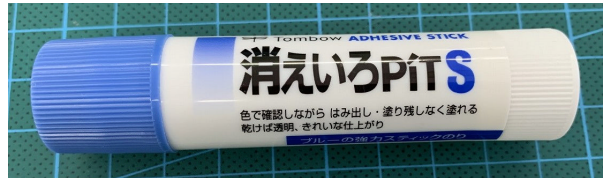
のりの色が青いので、塗った場所が分かりやすく、しかも、乾くと透明になるので、仕上がりに影響しません。

ところが、困ったことがあります。この円筒形のスティックのりは、机の上で、コロコロ転がりやすいのです。転がった上に、床に落ちてしまうこともしばしば。

そうになると、弱視の子どもにとっては、作業の時間よりも、落としたものを探す時間の方が長くなることも！

そこで、こんなスティックのりを準備してみました。

コクヨの「GL00スティックのり」です。



ボディが四角なので、転がりません。また、のりの部分も四角なので、縁までしっかりのり付けしやすいという利点もあります。もちろん、色つきのりです。



このほかにも、セキセイの「デルタ 三角のり」など、転がりにくいものがありますので、そうしたものを積極的に選ぶとよいのではないのでしょうか。